

館報 おおのなか

創立50周年 特 別 号

発 行

相模原市立大野中公民館

相模原市古淵3丁目21番地1号

☎ (042) 746-6600

祝 大野中公民館創立五十周年記念式典



平成十四年十一月二十四日（日）午前十時、大野中公民館の「創立五十周年」記念式典が、同公民館の大会議室で、小川勇夫市長をはじめとする多くの来賓、五十周年記念行事実行委員会の細谷昇委員長・小方榮一郎公民館長以下の役員を集めて厳粛に行なわれた。

実行委員長・館長の挨拶（二面参照）の後、公民館の五十年の歴史を踏まえた「感謝状贈呈」があり（七面参照）、受賞者の「謝辞」の後、来賓の「祝辞」に移った。

●百周年への第一歩として

小川市長は、「五十周年記念を、次なる百周年へ向けての第一歩と心得て、さらなる頑張りを期待する」と力強く、記念式典を単に「祝い」とするのではなく新たなスタートを切る覚悟を要請された。（写真上）

大野中出張所管内は人口増が続いたため、市内でも珍しく「一出張所三公民館」の体制になっているが、当日は、大沼公民館・大野台公民館の関係者も数多く参加され、昔なつかしい顔を迎えて、式典会場のあちこちで「久しぶりの挨拶」がかわされ、「お祝いムード」はさらに高まった。十時半過ぎに式典を終了し、参加者は「祝賀会」に移動した。



創立50周年記念事業実行委員長

細谷 昇

創立五十周年を迎えて



大野中公民館長 小方 栄一郎

大野中公民館が創立されて50周年の区切りを迎えたことは、地域にとって大変意義のあることです。この記念すべき節目の事業に関わりをもつことが出来たことを大変光栄に思っております。

公民館の半世紀を想うとき、歴代の館長、運営審議会委員長を中心に関係者が、地域社会の教育力向上を願い、各種の事業を企画立案し、活発に実施され、地域住民が自治会単位、またグループ等で参加し一体感を醸成したことは、特筆すべき成果だと思います。この50周年の歩みを、多くの関係者と共に祝い、振り返り、次の周年事業に向けてさらなる発展を願うものであります。

大野中地域の発展と共に多くの方々が住まいを持たれた結果、公民館への要望も多くなってきたなかで、昭和61年4月に大沼公民館が分館設置され、さらに平成6年7月には大野台公民館が分館設置されました。一行政地域内に3公民館が配置されているのは市内には例はありません。それだけこの地域での大野中公民館が、地域の教育力を高めるために果たしてきた役割の大きかったことが判ります。

それぞれに大野中公民館で活躍された有志の方々が中心となり、館の設置に向けて運動された結果でもあります。現在3館区ごとに独自性を出しながら活発な事業活動を実施していることは皆様ご承知のことと思います。

多くの団体、グループや個人が公民館を利用し、自らの生涯学習の場として、集い、語り合い、楽しく活動する姿は、地域に開かれた公民館としての親近感を持ていただきました。しかし50年の年月と共に社会の変化の中で、公民館の在り方も変化を求められています。

終りに、この50周年記念事業に多くの方々から協賛金をいただき、また実行委員の皆様にはそれぞれに役割を持って、ご協力いただいたことに対し、心からお礼を申し上げます。

戦後の物心両面にわたり荒廃した混乱期の昭和24年6月、社会教育法が公布され、市に於いても公民館設置条例が制定され、大野中公民館は昭和27年12月27日、市内11番目として創立されました。今日までの歩みの中で昭和52年11月には創立25周年記念事業が執り行われておりますが、この間、朝鮮動乱・オイルショック等、激動する社会変化の中で住民の融和と生活の向上のために、一貫して体育・文化活動等の事業の灯を燃やし続けてきたと記念誌に記されており、先輩諸兄の並々ならぬご努力に対しまして、ここに改めて心より敬意を表します。

昭和50年4月1日には待望の独立公民館が新築落成し、常勤職員も配属され、館主催事業も活発に行われ、これを機会に自主的な活動グループも次々と誕生しました。

以来、今日まで更に25年の歳月を重ねてまいりましたが、この間、館区内にはJR古淵駅の開業に続き、超大型店舗も次々と出店しました。また、市内でも有数の人口急増地区となり、当館設立当初は僅か約400世帯でしたが、現在では60倍近くに達し、人口も市の10分の1を数え、更に急増中で飛躍的な発展を遂げております。このため、昭和61年に大沼公民館が、更に平成6年に大野台公民館がそれぞれ分館されました。

なお平成2年、当公民館は長年にわたる運営体制・専門部活動等が高く評価され、優良公民館として文部大臣表彰を受賞致しました。

このたび、50周年を契機として更なる充実発展のために、地域の皆様方の益々多様化・高度化する学習ニーズに対応した事業活動と共に、現代的な地域課題・生活課題などにも積極的に取り組んで参る所在でございますので、今後とも皆様方の暖かいご指導・ご鞭撻・ご協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。

おおのなかマップ



〈公民館分館〉

大沼公民館 昭和61年4月1日
大野台公民館 平成6年7月1日

大野中公民館の五十年



▲昭和40年代までの大野中出張所風景。大正末の「関東大震災」後に建てられた頑丈な木造二階建てで、二階の会議室では地域関連の会議もしばしば行なわれた。

- ▽昭和24（一九四九）年6月 社会教育法制定
- ▽同年10月 市が公民館設置条例制定
- ▽昭和27年12月27日 大野中公民館開設
- ▽昭和28年3月1日 初代館長 根岸家光（昭和30年6月1日）
- ▽同年 第1回大野中公民館体育祭開催
- ▽昭和30年6月1日 第2代館長 井上五十雄（昭和31年9月30日）
- ▽昭和31年10月1日 第3代館長 志村美津治（昭和34年3月31日）
- ▽昭和34年4月1日 第4代館長 細谷政五郎（昭和44年7月31日）
- ▽昭和36年11月27日 公民館兼講堂落成、祝賀会開催
- ▽昭和39年 第1回婦人学級（女性学級）
- ▽昭和44年8月1日 第5代館長 水村金一（昭和48年3月31日）
- ▽昭和45年 第1回小中学生剣道大会
- ▽昭和48年4月1日 第6代館長 山崎貞雄（昭和49年9月30日）
- ▽昭和49年10月1日 第7代館長 河本清治（昭和62年1月28日）
- ▽昭和50年4月1日 独立公民館として新築落成。
- ▽昭和52年11月12日 大野中公民館創立25周年記念事業 記念式典・懇親会実施。
- ▽昭和61年4月 第1回高齢者学級（ふれあい学級）開催
- ▽昭和61年4月1日 大沼公民館開設
- ▽昭和62年5月20日 第8代館長 志村勝吉（昭和63年4月30日）
- ▽昭和63年4月 大規模増改築竣工
- ▽昭和63年5月1日 第9代館長 小方儀市（平成6年4月1日）
- ▽平成1年3月9日 第1回公民館まつり開催（以後毎年開催）
- ▽平成2年6月11日 第1回スローピッチソフトボール大会開催
- ▽平成2年11月2日 全国優良公民館表彰を受賞（文部大臣）
- ▽平成3年4月28日 第1回こどもまつり開催（以後毎年開催）
- ▽平成4年5月24日 第1回健康まつり開催（以後毎年開催）
- ▽平成6年5月1日 第10代館長 志村勝吉（平成12年4月30日）
- ▽同年7月1日 大野台公民館開設。
- ▽平成7年8月19日 ターゲットバードゴルフ大会実施
- ▽平成12年5月1日 第11代館長 小方榮一郎（現在）
- ▽平成13年6月 初のパソコン教室開催
- ▽平成14年4月1日 公民館活動推進員2名配属
- ▽同年10月 バスケットボールチームが市の体育祭で4年連続優勝を達成



▲昭和63年の大規模増改築で現在の姿となった大野中出張所と大野中公民館の全景（この写真は、前面の電線を消してあります）



▲ 館 旗

大野中公民館創立50周年記念事業実行委員名簿

実行委員長	細谷 昇			
副実行委員長	森 逸雄	琴野 桂子	若林 民男	
会計	伊藤 重秋	中島 麗子		
監事	細谷 欣宏	細谷 勝利		
部長				
[総務部会]	山崎 邦夫			
[式典部会]	渡邊たき子			
[祝賀部会]	八木 忠吉			
[記念誌部会]	細谷恵津子			
相談役	細谷 隣	細谷政五郎	小方 儀市	志村 勝吉

総務部会

◎山崎 邦夫	○山口 峯男	○柴崎しづ子	○河野 雄介	○細谷 政幸
金丸 六夫	野村 邦雄	廣瀬 隆夫	九嶋 陸次	竹川 忠一
石田 廣江	松倉 吉雄	高梨 英夫	内藤 勝二	小林秀太郎
吉田 育子	細谷 宏明	安藤ミツ子	西嶋 梅乃	久妻 康男
大内 和也	山崎 惣平	小方 健	江渕 雄二	野中 周平
大谷 泰夫	銀木 太吉	大谷 幸雄	大久保祐次	山本 絹子
杉本 裕子	霧生登喜男	川渕まつ子	久保田光江	敦澤 春美
溝口 政子	小関 和弘	河原 政司	渡辺 忠雄	小林 利夫
針谷 光夫	竹中 勝蔵	加藤 一郎	斎藤十一郎	村田 充穂
亀田 慶一	菊池 健	斎城 徹	古内 明 (故)	小池 晴男

式典部会

◎渡邊たき子	○細谷 省吾	○林 とも子	○札幌 英子	
松村 幸子	川谷智恵子	佐々木法子	白倉登志子	佐々木寿典
櫻田 延江	辻 早智子	川越真知子	真田八重子	野田 理枝
神山 純子	高橋 忠男	菊池さゆり	新海 節子	加賀 優子
今井 秀明	清水 悦子	土屋 育子	市川美代子	東谷 光子
饗庭知江子	大谷 博	石川 智子	三沢 国弘	

祝賀部会

◎八木 忠吉	○青山 常代	○金本 祥司	○佐相 栄二	
片山 茂治	權藤 美子	今井 忠蔵	渋谷恵美子	境 美根子
大谷 国章	八島 久子	松本 勝美	内藤サツ子	香川 義彦
森瀬 房子	大熊 朝子	猪狩 智佳	小関 学	瀬谷みゆき
平川 研				

記念誌部会

◎細谷恵津子	○渋谷 悦子	○藤原さかゑ		
浜田 初枝	堀江 正枝	恩田 弘治	生越 昭夫	細谷 玉江
大野 明男	羽深 邦男	川上寿美代	富久田礼子	三嶋 信子

歴代館長五氏に感謝状を贈呈 記念品には「懐中時計」

創立五十周年記念式典では、「歴代館長（健在の方）と現役館長」を対象として、記念事業実行委員長からの感謝状と記念品（懐中時計）が贈呈された。

創立当初の方もおられるので、実行委員会事務局でまとめた「贈呈事由」を紹介する。

□井上五十雄氏

第二代館長。当時の相模原町大野中支所長であり兼務館長だったが、公民館の創設期で、公民館活動についての話し合いを数多く開催し、地域の「公民館体育祭」や「盆踊り大会」などの企画に尽力された。

□細谷政五郎氏

第四代館長。当時の「少ない公民館活動費」のなかで、公民館区内を走る駅伝、賀詞交歓会などの企画に尽力された。また公民館・農協・大野小学校の三者で「三和会」という懇親会を開催して強力関係の強化充実を図ったり、南文化センターの設立にも尽力された。

□志村勝吉氏

第八代・第十代館長。公民館運営審議会を積極的に活用し、平成11年12月に、「実行委員会事業」である公民館体育祭・公民館まつりに対する見直し・内容充実に向けて諮問を行ない、翌12年6月に答申を受け、答申に沿って事業が行なわれるよう尽力された。

□小方儀市氏

第九代館長。公民館まつり、自治会対抗男女スローピッチソフトボール大会、こどもまつり、健康まつりなど多くの事業を企画され、平成2年度には「全国優良公民館表彰」の受賞に尽力された。

□小方榮一郎氏

第十一代館長。公民館の「組織などの見直し」により、職員体制の変更、通年開館、図書室開館時間の延長、公民館予約システムの変更、さらに今回の五十周年記念事業など、公民館「激動期」に充実した体制づくりに尽力された。

なお、当日は井上五十雄氏・細谷政五郎氏のお二人が体調その他の都合で欠席され、式典会場で感謝状贈呈を受けられたのは三人だった。



▲細谷昇実行委員長から感謝状と記念品を受ける小方儀市元館長。

五氏から祝辞

五十周年記念式典と祝賀会の二つの会合を通じて、「祝辞」を述べられた来賓は次の五氏である。

相模原市長 小川 勇夫氏
市教育委員会教育長 雨宮 博之氏

市公民館連協会長 梅田 道明氏
（大野北公民館長）
相模原市議会議員 細谷 隣氏
相模原市議会議員 細谷 達司氏

協賛金からテント二張を 公民館に寄贈

五十周年記念事業実行委員会では各個人・サークル・団体にお願いした協賛金が、予算をかなりオーバーしたところから、「テント二張」を公民館に寄贈することを決め、祝賀会の席で細谷昇委員長から小方榮一郎公民館長に目録が贈られた。



盛大な祝賀会
和やかに、にぎにぎしく



市長さんとの楽しい語らい



めでたく鏡開き



鵜野森囃子連による
アトラクション



思い出話に花を咲かせて！